

## 令和3年2月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

**石本 政弘 議員**

◇鷹島水中遺跡について

(1) 鷹島への水中考古学調査研究機関の誘致について具体的にどのような取組をしているか伺いたい。

(教育長答弁)

国の機関を鷹島に誘致するためには、水中遺跡に携わる専門家等の中で、鷹島の知名度を向上させることも重要であると考えています。このため、令和3年度当初予算案に「水中文化遺産保存活用推進事業」を新規事業として計上しております。本事業では、松浦市鷹島において、全国の考古学を専攻する大学生や自治体職員などを対象に水中考古学の体験講座を開催し、水中遺跡の保護に携わる人々に対して、鷹島海底遺跡の価値や魅力を積極的に伝えてまいります。

この他にも、県内には、54箇所の中遺跡が認知されており、全国3位とその数も多いことから、県内全域を対象にした水中遺跡の分布調査を行い、遺跡地図等で周知することで、県民はもとより水中考古学の専門家に対して、本県水中遺跡の認知度を高めていきたいと考えております。

(2) 木製いかり引き上げに係る財政支援について伺いたい。

(教育長答弁)

これまでも松浦市が行う鷹島海底遺跡の発掘調査に対しては、国及び県の補助事業の対象としており、国は調査費用の2分の1を、県はその残りの額の5分の2以内で補助を行っています。令和3年度に松浦市が計画している木製いかりの引き上げや、その後に行う保存処理の作業についても、これまでと同様の枠組で財政支援を行っていきたいと考えています。